

## 令和3年度事業報告書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

(特定非営利活動法人T O S S鳥取)

### 1 事業の成果

・百人一首は何百年もの長い歴史をくぐり抜けてきた日本の誇るべき伝統文化である。これに工夫を加え、誰にでもわかりやすく、覚えやすくした五色百人一首。その大会を実施した。日頃取り組んでいる五色百人一首の成果を試したり、いろいろな学校のたくさんの友だちと楽しんだりすることができた。今年度はコロナ感染予防のため人数を50人に限定した。また、全員マスク着用し、フェイスシールドをつけて行った。毎年続け今年で第18回となった。百人一首への興味がさらに高まってきた。

・地域の子どもたちに向けての交流体験事業を行った。私たちは、ふるさとに誇りと愛着を持ち、ふるさとを担う子どもたちを育てたいと願っている。地域のよさや素晴らしさを体験し実感できるような場を設定し、集まった子どもたちが交流を深めながら、自分たちの地域の良さを感じてほしいと考えて実施している。今年度で、5回目になる。鳥取県内の市町村のほとんどで活動してきた。今年はコロナ感染予防のため、人数を各講座15人に限定し、募集を行った。6講座ともにすぐに定員いっぱいになった。当日はその時の状況により、少ない参加人数だったが、どの講座も充実した活動ができた。子どもたちも保護者も喜んでいて。

年度初めの1月は、令和2年度の子ども観光大使講座が中止になったので「鳥取県子ども観光大使大会」は実施しなかった。

・子どもと保護者のための「親守詩大会」を実施した。親が子を思って詠う詩が子守歌である。その逆に子が親を思って詠う詩が親守詩である。親守詩を全県から募集し、親守詩鳥取県大会を今年も開催することができた。感染対策をしっかりと行って実施した。家庭での親と子の絆を深めた心温まる体験が詩となり、改めて親子のふれあいを深める機会となった。

親子の絆を深める模擬授業も行い、子どもたちの心に響いた。多くの参加者が心に残る親守詩大会だったと感想に書いていた。子どもたちの健全育成にも効果ある活動であった。

・教育関係者を対象にして、指導者として指導技術の向上を図るための研修を実施した。最先端の教育情報や効果のある教育の方法を学び、教育に関する研究ができた。コロナ禍の中、ハイブリッド研修やZOOM研修を行った。教育に必要な技術を学ぶ体験活動を通して、指導法を身につけることができた。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子どものための伝統文化事業	五色百人一首大会の開催	2月23日	ハワイ・アロハホール	15人	鳥取県内の子ども 50人	52
子どもと保護者のための課題研究事業	鳥取県子ども観光大使講座	6月27日	上神焼き体験	6人	鳥取県内の児童14名 保護者12名	320
		7月4日	佐治アストロパーク	7人	児童14名 保護者11名	
		7月11日	妻木晩田遺跡	5人	児童14名 保護者11名	
		8月4日	鳥取林養魚場	5人	児童13名 保護者8名	
		8月8日	わらべ館	6人	児童8名 保護者6名	
		9月25日	陸上自衛隊米子駐屯地	7人	児童9名 保護者7名	
	親守詩鳥取県大会	12月5日	倉吉交流プラザ	18人	鳥取県内の児童生徒 30名 保護者30名	130
教育に関する研究・情報提供事業	模擬授業や講演を通して、指導技量の向上をはかる研修	3月20日	リフレプラザ 倉吉 グーグルミート	15人	教育関係者 2名 教育関係者 10名	2
		3月27日				2
		3月28日				4
		3月31日				
		4月29日				
		5月28日				
		8月19日	リフレプラザ 倉吉			6 2
12月18日						
12月30日	白兔会館	教育関係者 60名	571			

(備考)

- 1 2の(1)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 2 2の(1)のうち、「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 3 2の(2)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(2)については、定款上「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

令和3年度 財産目録  
 令和3年12月31日現在

特定非営利活動法人TOS S鳥取  
 (単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	885		
ゆうちょ銀行預金			
流動資産合計		885	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産	0		
(2) 無形固定資産	0		
(3) 投資その他の資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			885
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
2. 固定負債	0		
負債合計		0	
正味財産			885

令和3年度 貸借対照表  
 令和3年12月31日現在

(特定非営利活動法人T.O.S.S鳥取)  
 (単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	885	
未収金	0	
流動資産合計		885
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		885
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	723	
当期正味財産増減額	162	
正味財産合計		885
負債及び正味財産合計		885

様式（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

令和3年度 活動計算書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

(特定非営利活動法人T O S S鳥取)

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	170,000		
賛助会員受取会費	0		
受取会費計		170,000	
2. 受取寄附金	87,000		
3. 受取助成金等			
・子どもゆめ基金	294,000		
		381,000	
4. 事業収益			
・子どものための伝統文化事業	0		
・子どもと保護者のための課題研究事業	0		
・教育に関する研究及び情報提供事業	545,907		
		545,907	
5. その他収益	0		
経常収益計			1,096,907
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 子どものための伝統文化事業	52,530		
(2) 子どもと保護者のための課題研究事業	451,501		
(3) 教育に関する研究及び情報提供事業	590,044		
事業費計		1,094,075	
2. 管理費			
(1) 消耗品	2,670		
(2) 会議費	0		
(3) 通信運営費	0		
管理費計		2,670	
経常費用計			1,096,745
当期正味財産増減額			162
前期繰越正味財産額			723
次期繰越正味財産額			885

(様式例)

前事業年度の年間役員名簿

(特定非営利活動法人の名称)

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事 (理事長)	森下 人志	/	R3年1月1日 ～ R3年12月31日	無
理事 (副理事長)	松本 勝男	/	R3年1月1日 ～ R3年12月31日	無
理事 (副理事長)	青戸 智子	/	R3年1月1日 ～ R3年12月31日	無
監事	澤田 智志	/	R3年1月1日 ～ R3年12月31日	無

(備考)

- 1 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」の欄には、鳥取県特定非営利活動促進法施行条例第3条第1項に掲げる書面によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員について記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員のみについて記載する。